



※受理年月日	R8年2月16日
※受理番号	R7-54
※備考	

大規模小売店舗を設置している者の変更事項届出書

鹿児島県知事 殿

令和8年2月16日

株式会社大石企画
代表取締役 大石堅治
福岡市博多区博多駅南五丁目25番7号

大規模小売店舗立地法附則第5条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

ダイレックス国分新町店
鹿児島県霧島市国分新町字上崎田1075番地 外

2 変更しようとする事項

(1) 大規模小売店舗内の店舗面積の合計

(変更前) 2,998㎡
(変更後) 2,205㎡

(2) 大規模小売店舗の施設の運営方法に関する事項

①大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻

(変更前) 開店時刻：午前10時 閉店時刻：午後11時
(変更後) 開店時刻：午前9時 閉店時刻：午後10時

②来客が駐車場を利用することができる時間帯

(変更前) 午前9時30分～午後11時30分
(変更後) 午前8時30分～午後10時30分

③駐車場の自動車の出入口の数及び位置

(変更前)

駐車場No.	出入口の数	位置
駐車場	3箇所	建物敷地北側、東側及び南側 〔資料-3.1 平面図兼配置図 (変更前) 上・出入口No.1～出入口No.3〕

(変更後)

駐車場No.	出入口の数	位置
駐車場	3箇所	建物敷地北側、東側及び南側 〔資料-3.2 平面図兼配置図 (変更後) 上・出入口No.1～出入口No.3〕

④荷さばき施設において荷さばきを行うことができる時間帯

(変更前) 午前6時00分～午後10時00分
(変更後) 24時間

3 変更する年月日

令和8年3月31日



4 上記2の変更に係るもの以外の事項

(1) 大規模小売店舗において小売業を行う者の氏名又は名称及び住所並びに法人にあっては代表者の氏名

小売業者		住所
氏名(名称)	代表者(法人の場合)	
ダイレックス株式会社	代表取締役 五味 肇	佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬930番地
株式会社大創産業	代表取締役 矢野靖二	広島県東広島市西条吉行東一丁目4番14号

(2) 大規模小売店舗の施設の配置に関する事項

① 駐車場の位置及び収容台数

駐車場No.	収容台数	位置
駐車場	95台	建物敷地内 [資料-3.2 平面図兼配置図 (変更後) 上に記載]

② 駐輪場の位置及び収容台数

位置	収容台数
A棟東側 [資料-3.2 平面図兼配置図 (変更後) 上・駐輪場]	14台

③ 荷さばき施設の位置及び面積

位置	面積
A棟東側 [資料-3.2 平面図兼配置図 (変更後) 上・荷さばき施設No.1]	50m ²
A棟西側 [資料-3.2 平面図兼配置図 (変更後) 上・荷さばき施設No.2]	50m ²
合計	100m ²

④ 廃棄物等の保管施設の位置及び容量

位置	容積
A棟内南側 [資料-3.2 平面図兼配置図 (変更後) 上・廃棄物等保管施設]	27.96m ³

〔設置者、建物等の概要〕

1 変更の趣旨

この度、だいわファッション館国分北店の閉店に伴い、新たなテナントとして「ダイレックス株式会社」を誘致し、店舗の活性化を図るとともに、営業時間等の運営方法を見直すことといたしました。

地域の皆様方の日常生活の利便性の向上と豊かな生活環境の実現のために微力を尽くしていくとともに、地域にお住まいの方々に対しましては、騒音問題や交通問題への対策を講じ、皆様方にご迷惑をお掛けすることがないよう配慮して営業を行っていく所存であります。

2 大規模小売店舗設置者の連絡先等

(1) 設置者の連絡先及び電話番号・FAX番号

＜小売業者＞

ダイレックス株式会社 店舗開発部 黒岩政文
佐賀県佐賀市高木瀬町大字長瀬930番地
TEL 0952-32-6511 FAX 0952-32-6761

(2) ①周辺の生活環境保持の対応策の小売業者等への周知措置

従業員に届出書及び添付資料の内容を説明することで、施設の運営方法の明確化を図るとともに、定期的なテナント会議により周知徹底を図る。

②周辺の生活環境保持のための監督・管理責任者

ダイレックス国分新町店 店長

3 法人にあっては登記事項証明書、個人にあってはその住民票の写し〔規則§4I①〕

別添のとおり

4 小売業者一覧

	小売業者名	店舗面積	業種・業態	主として販売する物品
核となる小売業者	ダイレックス株式会社	2,205㎡	ディスカウントストア	食料品、衣料品、住・生活関連用品等
その他の小売業者	株式会社大創産業		100円ショップ	住・生活関連用品、食料品等

5 建物の位置及びその建物内の小売業を行うための店舗の用に供される部分の配置を示す図面〔規則§4I③〕

(1) 建物位置図

別添「資料―1 建物位置図（広域図）」参照

(2) 周辺見取図

別添「資料―2 周辺見取図」参照

(3) 建物配置図

別添「資料―3.1 平面図兼配置図（変更前）」参照

別添「資料―3.2 平面図兼配置図（変更後）」参照

(4) 各階平面図

別添「資料―3.1 平面図兼配置図（変更前）」参照

別添「資料―3.2 平面図兼配置図（変更後）」参照

6 店舗施設計画の概要

(1) 計画地の概要

①敷地面積及び土地の所有形態

建物・駐車場敷地	10,304㎡	賃貸借契約
合計	10,304㎡	

②法令上の用途等

都市計画法用途地域 第二種住居地域、第一種中高層住居専用地域
別添「資料-4 用途地域図」参照

③現在の利用状況

現在、A棟のみが立地しており、その内の「たいわファッション館国分北店」は閉店しており、「ダイソーダ
イワ国分北店」のみが営業中である。

(2) 計画地周辺の概要

①立地環境

建物敷地北側：主要地方道都城隼入線を挟み店舗や事業所等が立地
建物敷地東側：主要地方道国分霧島線を挟み店舗兼用集合住宅等が立地
建物敷地南側：市道岩戸久保田線を挟み店舗が立地
建物敷地西側：戸建住宅が立地

②隣接地の用途現況

別添「資料-2 周辺見取図」参照

③基盤整備に関する事業の有無とその内容

該当事業なし

④街並みづくり計画の有無とその内容

該当計画なし

⑤都市計画及び中心市街地活性化基本計画との関連性

特になし

(3) 建物の構造及び規模

①建物構造

鉄骨造 平屋建て（一部、2階建て）

②店舗面積の内訳

イ 建築面積；2,939㎡

ロ 延べ面積；2,880㎡

ハ 各階ごとの店舗面積及び延べ面積等

(単位：㎡)

	店舗面積	その他の施設	延べ面積
2F	0	90	90
1F	2,205	585	2,790
合計	2,205	675	2,880

(4) その他の施設計画と各施設面積

利用者層が同一の併設施設		
施設名	営業面積	営業時間
美容室	123㎡	9:30~19:00
飲食施設	348㎡	未定
合計	471㎡	

利用者層が異なる併設施設			
施設名	事業主体	営業面積	営業時間
該当施設なし	—	0㎡	—

- (5) 開店若しくは施設変更等の届出時に対応策の前提として調査・予測した結果と大きく乖離があり、対応が著しく不十分である場合の追加的対応方針

事前予測結果と変更後の状況に大きな乖離が生じた場合には、再度調査・予測を実施した上で、必要な追加的対応策を講じていく。

7 その他（特記事項）

特になし

[駐 車 需 要 の 充 足 等]

1 必要な駐車場の収容台数を算出するための来客の自動車の台数等の予測の結果及び算出根拠 [規則 § 4 I ④]

(1) 指針による必要駐車台数計算式

(端数処理：四捨五入)

事 項 等		各事項算出のための計算式等
地区の区分	商業地区・ その他地区	(理由：第二種住居地域、第一種中高層住居専用地域)
S：店舗面積	2,205千㎡	
A：店舗面積当たり日来店客数原単位	1,033.85人/千㎡	人口40万人未満・1,100-30S (S<5)
B：ピーク率	14.4%	経済産業省指針数値
L：駅からの距離	- m	← (駅名： -)
C：自動車分担率	70%	人口10万人以上40万人未満
D：平均乗車人員	2.0人/台	店舗面積10千㎡未満
E：平均駐車時間係数	0.7021	店舗面積10千㎡未満・(30+5.5S) / 60
必要駐車台数	81台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$
日来店台数	798台	$A \times S \times C \div D$
ピーク1時間当たりの来店台数	115台	$A \times S \times B \times C \div D$

(2) 特別な事情による駐車台数の算出

該当なし

(3) 駐車場の分散確保の有無

駐車場の分散確保の有無		理 由 等
有・ 無		建物敷地内において指針で求める必要駐車台数を確保しており、計画している駐車場形式及び駐車場出入口の数や位置について、周辺道路の交通に影響が少ないと考えられるため。
借上 駐 車 場 の 場 合	駐車場名	該当なし
	設置者・管理者	
	契約・利用形態 (専用、優先、提携等)	
	来店客が駐車可能な台数 (算出根拠)	

(4) その他の駐車場の状況

[従業員等(業務用を含む) 駐車場]

事 項	有無の別	当該小売店舗駐車場と 共用・別途の別	収容台数	備 考 (従業員の雇用状況や利用状況など駐車台数算 定の根拠等)
従業員用駐車場	有 ・無	共用・ 別途	35台	自動車通勤予定従業員数より

[併設施設の駐車場]

ア オフィス・マンション等、小売店舗とは利用者が独立して考えられる併設施設

該当なし

イ 飲食店、銀行ATM、クリーニング、映画館、ボーリング場、ゲームセンター、温浴施設等、小売店舗の集客に影響を与える蓋然性を有する併設施設

名称	業務内容	面積	当該小売店舗駐車場と 共用・別途の別	必要駐車 台数	算出根拠	収容台数
未定	飲食施設	345㎡	共用・別途	1台	下記のとおり	14台
美容室ママファミリー 国分新町店	サービス施設	123㎡	共用・別途			
合計		468㎡				

[s : 小売店舗と利用者層が同一の併設施設面積の合計] (端数処理：四捨五入)

s	468㎡
S : 店舗面積×0.2	441㎡

併設施設の割合X : $468\text{㎡} / 2,205\text{㎡} = 21.2\%$

<指針値との比率式>

$$0.010X + 0.80 = 0.010 \times 21.2 + 0.80$$

$$= 1.012$$

併設施設の必要駐車台数 = $81\text{台} \times 0.012 = 1\text{台}$

<指針値との比率式>

併設施設の割合	指針値との比率式 (X : 併設施設の割合%)
20~50%	$0.010X + 0.80$
50~80%	$0.008X + 0.90$
80%~	$0.002X + 1.38$

ウ 小売店舗がその施設の一部となるような小売店舗以上の集客力を有する併設施設 (小売店舗が大規模なアミューズメント施設や博覧会施設の一部であるような場合)
該当なし

2 駐車場の構造、収容台数、面積及び敷地の状況 (小売店舗、併設施設等を含む全体の収容台数)

No.	駐車場の構造	収容台数		面積	駐車区画の大きさ	
		一般用	身障者用		一般用	身障者用
駐車場	建物外平面駐車場 (自走式)	141台	3台	1,815㎡	5.0m×2.5m	5.0m×3.5m

駐車料金の 徴収の有無	駐車場条例による届出 駐車場とする予定の有無	入口ゲートの 入庫処理時間	契約形態
有・ 無	有・ 無	無	自社所有

3 駐車場の自動車の出入口の形式又は来客の自動車の方向別台数の予測の結果等駐車場の自動車の出入口の数及び位置を設定するために必要な事項 [規則 § 4 I ⑤]

(1) 駐車場の自動車の出入口の形式

① 駐車場の入庫処理能力

自走式平面駐車場で発券ブースの設置がないため、該当なし

② 敷地内駐車待ちスペース

出入口の場所	駐車待ち スペースの有無	実際に用意する 駐車待ちスペース	発券ブース の有無	必要な駐車待ちスペース		駐車待ちスペース「無」の場合 その理由・対策
				長さm	算出根拠	
出入口No.1	無	0m	無	-26.6m	下記のとおり	駐車場出入口にはゲートや発券 ブースの設置予定がなく、入庫処 理時間がかからないため
出入口No.2	無	0m	無	-26.6m	下記のとおり	
出入口No.3	無	0m	無	-26.6m	下記のとおり	

<必要駐車待ちスペースの算出根拠>

{ (当該入口の1分当たりの来台数×1.6) - (当該入口の1分当たりの入庫処理可能台数) } ×6 (m)

各出入口 { (115台/60分×1.6) - (450台/60分) } ×6 (m) =-26.6 (m)

(2) 敷地周辺の道路の状況

別添「資料-2 周辺見取図」参照

(3) 来客の自動車の方向別台数の予測の結果等

該当なし

(4) 集客力の高い併設施設の利用者の交通量の予測

該当なし

4 荷さばき施設において商品の搬出入を行うための自動車の台数及び荷さばきを行う時間帯 (規則 § 4 I ⑦)

(1) 荷さばき施設の概要

荷さばき施設No.	同時作業の可能な台数		待機スペースの有無・広さ
	想定する車両の大きさ	台数	
荷さばき施設No.1	4t車	1台	無・有
荷さばき施設No.2	4t車	1台	無・有

(2) 荷さばきを行う時間帯

<荷さばき施設No.1>

時間帯	車両の大きさ	車両台数	平均的な処理時間 (分)	荷さばき待ちの台数
6:00~ 7:00	10t車	2台	20分	0台
7:00~ 8:00		0台	0分	0台
8:00~ 9:00	4t車	1台	20分	0台
9:00~10:00	4t車	2台	20分	0台
10:00~11:00	4t車	1台	20分	0台
11:00~12:00		0台	0分	0台
12:00~13:00		0台	0分	0台
13:00~14:00	4t車	1台	20分	0台
14:00~15:00	4t車	1台	20分	0台
15:00~16:00	4t車	1台	20分	0台
16:00~17:00	4t車	1台	20分	0台
17:00~18:00		0台	0分	0台
18:00~19:00		0台	0分	0台
19:00~20:00		0台	0分	0台
20:00~21:00	4t車	1台	20分	0台
21:00~22:00	4t車	1台	20分	0台
22:00~23:00		0台	0分	0台
23:00~ 0:00		0台	0分	0台
0:00~ 1:00		0台	0分	0台
1:00~ 2:00		0台	0分	0台
2:00~ 3:00		0台	0分	0台
3:00~ 4:00		0台	0分	0台
4:00~ 5:00		0台	0分	0台
5:00~ 6:00	4t車	1台	20分	0台
合計		13台	-	-

<荷さばき施設No.2>

時 間 帯	車両の大きさ	車両台数	平均的な処理時間(分)	荷さばき待ちの台数
6:00～7:00	4t車	1台	20分	0台
7:00～8:00		0台	0分	0台
8:00～9:00		0台	0分	0台
9:00～10:00	4t車	1台	20分	0台
10:00～11:00	4t車	1台	20分	0台
11:00～12:00	4t車	1台	20分	0台
12:00～13:00		0台	0分	0台
13:00～14:00	4t車	1台	20分	0台
14:00～15:00		0台	0分	0台
15:00～16:00		0台	0分	0台
16:00～17:00		0台	0分	0台
17:00～18:00		0台	0分	0台
18:00～19:00		0台	0分	0台
19:00～20:00		0台	0分	0台
20:00～21:00		0台	0分	0台
21:00～22:00		0台	0分	0台
22:00～23:00		0台	0分	0台
23:00～0:00		0台	0分	0台
0:00～1:00		0台	0分	0台
1:00～2:00		0台	0分	0台
2:00～3:00		0台	0分	0台
3:00～4:00		0台	0分	0台
4:00～5:00		0台	0分	0台
5:00～6:00	4t車	1台	20分	0台
合 計		6台	—	—

(3) 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	搬出入車両の出入口の数	対 応 等
無 (荷さばき施設No.1)	1箇所 (出入口No.3を共用)	・搬出入業者には、来店者と出入口が共用である旨を周知し、入出庫時の安全運転を徹底させる。
無 (荷さばき施設No.2)	1箇所 (出入口No.1を共用)	

(4) 小売業者が複数の場合の荷さばき施設の運営計画

- ・定期的なテナント会議で荷物の搬出入計画について錯綜しないよう協力を要請する。

(5) 搬出入事業者への混雑が少なくなるような経路選択の働きかけ

- ・商品等の搬出入は、朝・夕の交通量の多い時間帯や来店車両の多い時間帯を極力避けた搬出入計画を立て、待機車両が発生しないよう配慮する。

(6) 搬出入の経路上に学校等が位置する場合の運行時間帯、交通整理員の配置等の配慮

- ・搬入経路上が通学路に指定されているため、通学時間帯を極力避けた運行計画を立てる。

5 その他(特記事項)

- ・特になし

〔騒音の発生に係る事項〕

- 1 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機を設置する場合にあつては、それらの稼働時間帯及び位置を示す図面
〔規則§4I⑨〕

項目	設置の有無	稼働時間帯	位置
冷却塔	(無)・有	—	—
室外機	無・(有)	8:30~22:00	別添「資料-6 騒音発生源位置図」参照
送風機	(無)・有	—	—
排気口	無・(有)	8:30~22:00	別添「資料-6 騒音発生源位置図」参照
その他(冷凍冷蔵庫屋外機)		終日	別添「資料-6 騒音発生源位置図」参照
その他(キュービクル)		終日	別添「資料-6 騒音発生源位置図」参照

※特別な事情による騒音の総合的な予測

該当なし

騒音の総合的な予測方法

該当なし

騒音規制法の特定施設の設定届出の有無

有：鹿児島県公害防止条例に基づく「騒音に係る特定施設」の届出
該当する施設：圧縮機(冷凍機に付随しているものを含む。)
(原動機の定格出力が7.5キロワット以上のもの)

2 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測の結果及びその算出根拠

(1) 予測地点の選定及び環境基準等

別添「資料-7 騒音予測地点位置図」参照

予測地点	環境基準		規制基準	選定理由
	昼間	夜間	夜間	
A地点	55dB	45dB	45dB	駐車場出入口付近を走行する自動車走行音の影響を最も受けられる店舗兼用住宅敷地内とした。 (2階建て2階部)
B地点	55dB	45dB	45dB	駐車場出入口付近を走行する自動車走行音の影響を最も受けられる店舗兼用集合住宅敷地内とした。 (3階建て2階部)
C地点	55dB	45dB	45dB	建物南側及び2階部に設置される設備機器の稼働音、荷さばき施設及び廃棄物等保管施設から発生する作業音の影響を最も受けられる住居敷地内とした。 (1階建て1階部)
D地点	55dB	45dB	45dB	建物西側に設置される設備機器の稼働音及び荷さばき施設から発生する作業音の影響を最も受けられる住居敷地内とした(2階建て1階部)。

予測地点	環境基準		規制基準	選定理由
	昼間	夜間	夜間	
a地点	55dB	45dB	45dB	駐車場出入口付近を走行する自動車走行音の影響を最も受けられる敷地境界線上とした。
b地点	55dB	45dB	45dB	駐車場出入口付近を走行する自動車走行音の影響を最も受けられる敷地境界線上とした。
c地点	55dB	45dB	45dB	建物南側に設置され、夜間発生する設備機器の稼働音及び荷さばき施設から発生する作業音の影響を最も受けられる敷地境界線上とした。
d地点	55dB	45dB	45dB	荷さばき施設から発生する作業音の影響を最も受けられる敷地境界線上とした。

(2) 昼間の等価騒音レベルの予測

騒音発生源	基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)				各予測地点における騒音レベル(dB)				
	騒音レベル(dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	D地点	A地点	B地点	C地点	D地点	
定常騒音	1 室外機1	46.1	*1	8:30~22:00	80.2	95.3	70.5	83.2	7.3	5.8	8.4	7.0
	2 室外機2	62.0	*1	8:30~22:00	79.3	139.2	73.1	30.8	23.3	18.4	24.0	31.5
	3 室外機3	62.0	*1	8:30~22:00	80.2	139.0	71.7	31.6	23.2	18.4	24.2	31.3
	4 室外機4	62.0	*1	8:30~22:00	81.0	138.8	70.4	32.3	23.1	18.5	24.3	31.1
	5 室外機5	62.0	*1	8:30~22:00	83.5	138.2	66.4	34.8	22.9	18.5	24.9	30.5
	6 室外機6	62.0	*1	8:30~22:00	84.3	138.1	65.2	35.7	22.8	18.5	25.0	30.2
	7 室外機7	46.1	*1	8:30~22:00	103.3	136.0	39.5	59.3	5.1	2.7	13.5	9.9
	8 室外機8	53.1	*1	8:30~22:00	104.4	136.1	38.2	60.6	12.0	9.7	20.8	16.8
	9 室外機9	53.1	*1	8:30~22:00	105.5	136.3	37.0	61.8	11.9	9.7	21.0	16.6
	10 室外機10	52.1	*1	8:30~22:00	106.7	136.5	35.7	63.2	10.8	8.7	20.3	15.4
	11 室外機11	50.1	*1	8:30~22:00	107.7	136.6	34.6	64.2	8.8	6.7	18.6	13.2
	12 室外機12	62.0	*1	8:30~22:00	105.9	135.4	36.4	63.5	20.8	18.7	30.1	25.2
	13 室外機13	62.0	*1	8:30~22:00	107.2	135.6	35.1	64.8	20.7	18.7	30.4	25.1
	14 室外機14	62.0	*1	8:30~22:00	105.9	116.6	44.3	84.7	20.8	20.0	28.4	22.7
	15 室外機15	62.0	*1	8:30~22:00	107.3	117.1	43.6	86.0	20.7	19.9	28.5	22.6
	16 室外機16	62.0	*1	8:30~22:00	108.5	117.4	43.1	87.1	20.6	19.9	28.6	22.5
	17 室外機17	53.1	*1	8:30~22:00	109.9	117.8	42.5	88.3	11.6	11.0	19.8	13.5
	18 室外機18	46.1	*1	8:30~22:00	111.1	118.2	42.0	89.3	4.5	3.9	12.9	6.4
	19 室外機19	62.0	*1	8:30~22:00	104.9	114.0	46.7	86.4	20.9	20.2	27.9	22.6
	20 室外機20	62.0	*1	8:30~22:00	106.2	114.3	46.2	87.6	20.8	20.1	28.0	22.4
	21 室外機21	62.0	*1	8:30~22:00	107.4	114.7	45.7	88.6	20.7	20.1	28.1	22.4
	22 室外機22	62.0	*1	8:30~22:00	108.8	115.1	45.2	89.8	20.6	20.1	28.2	22.2
	23 室外機23	62.0	*1	8:30~22:00	110.1	115.5	44.7	90.9	20.5	20.0	28.3	22.1
定常騒音	24 冷凍冷蔵庫屋外機1	54.1	*1	終日	111.2	115.1	45.0	92.5	13.2	12.9	21.0	14.8
	25 冷凍冷蔵庫屋外機2	56.7	*1	終日	99.2	133.4	43.7	57.7	16.8	14.2	23.9	21.5
	26 冷凍冷蔵庫屋外機3	62.7	*1	終日	100.7	133.5	42.0	59.4	22.6	20.2	30.2	27.2
	27 冷凍冷蔵庫屋外機4	56.7	*1	終日	98.1	131.7	44.5	58.5	16.9	14.3	23.7	21.4
	28 冷凍冷蔵庫屋外機5	56.7	*1	終日	99.3	131.7	43.3	59.8	16.8	14.3	24.0	21.2
	29 冷凍冷蔵庫屋外機6	64.6	*1	終日	104.4	134.0	38.1	63.3	24.2	22.1	33.0	28.6
	30 冷凍冷蔵庫屋外機7	63.0	*1	終日	104.0	132.4	38.4	64.6	22.7	20.6	31.3	26.8
音	31 排気口1	53.3	*2	8:30~22:00	100.8	103.5	56.7	92.7	12.5	12.3	17.5	13.3
	32 排気口2	53.3	*2	8:30~22:00	111.3	116.6	43.5	91.2	11.7	11.3	19.8	13.4
	33 排気口3	53.3	*2	8:30~22:00	113.8	139.2	28.3	69.4	11.5	9.7	23.6	15.8
	34 排気口4	56.3	*2	8:30~22:00	101.0	137.1	42.5	55.0	15.5	12.9	23.0	20.8
	35 排気口5	56.3	*2	8:30~22:00	98.4	136.8	45.7	52.2	15.7	12.9	22.4	21.2
	36 排気口6	56.3	*2	8:30~22:00	97.3	136.8	47.0	50.9	15.8	12.9	22.2	21.5
	37 排気口7	56.3	*2	8:30~22:00	96.4	136.8	48.2	49.9	15.9	12.9	21.9	21.6
	38 排気口8	51.4	*2	8:30~22:00	65.7	134.4	87.6	34.4	14.3	8.1	11.8	20.0
	39 排気口9	51.4	*2	8:30~22:00	64.5	132.9	87.9	35.9	14.5	8.2	11.8	19.6
	40 キュービクル	51.7	*2	終日	109.4	135.2	33.0	68.2	10.9	9.1	21.3	15.0
変動音	※ 乗客車両走行音	74.0	*3	798台×2回	-	-	-	-	40.6	40.3	35.2	34.8
	※ 搬出入車両走行音	83.5	*3	17台×1~2回	-	-	-	-	29.1	23.5	24.2	27.6
	※ 廃棄物収集車両走行音	83.5	*3	3台×1~2回	-	-	-	-	12.6	13.5	14.9	11.8
	41 搬出入車両後進警報ブザー音	90.0	*4	10台×12秒	96.7	86.4	73.8	105.1	23.5	24.5	25.8	22.8
	42 搬出入車両後進警報ブザー音	90.0	*4	2台×18秒	103.9	85.0	76.3	113.3	17.7	19.4	20.3	16.9
	43 搬出入車両後進警報ブザー音	90.0	*4	5台×12秒	66.6	142.7	96.0	29.4	23.7	17.1	20.6	30.8
	44 廃棄物収集車両後進警報ブザー音	90.0	*4	3台×12秒	96.7	86.4	73.8	105.1	18.3	19.3	20.6	17.6
	45 廃棄物収集作業音(圧縮)	90.0	*4	3台×240秒	101.0	91.4	69.0	104.7	30.9	31.8	34.2	30.6
	46 廃棄物収集作業音(非圧縮)	85.0	*4	3台×90秒	101.0	91.4	69.0	104.7	21.6	22.5	24.9	21.3
	47 搬出入車両アイドリング音	78.6	*4	2台×1200秒	101.0	91.4	69.0	104.7	24.7	25.6	28.0	24.4
48 搬出入車両アイドリング音	78.6	*4	1台×1200秒	70.7	140.0	86.3	28.6	24.8	18.9	23.1	32.7	
49 台車走行音	71.0	*4	12台×20秒×10回	103.8	107.1	53.2	92.3	16.9	16.6	22.7	17.9	
50 台車走行音	71.0	*4	5台×6秒×10回	75.0	138.1	78.3	30.5	10.7	5.4	10.3	18.5	

*1 メーカー提供データより
 *2 既存類似店舗調査結果より(等価騒音レベル)
 *3 「ASJ Model 2003」より
 *4 「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き」より

騒音発生源			基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)				各予測地点における騒音レベル(dB)			
			騒音レベル(dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	D地点	A地点	B地点	C地点	D地点
衝 撃 騒 音	51	荷下ろし音	72.6	*5	12台×22回	102.3	99.0	61.2	98.8	9.0	9.3	13.5	9.3
	52	荷下ろし音	72.6	*5	5台×22回	74.9	138.1	78.3	30.5	7.9	2.6	7.5	15.7
	53	搬出入車両荷台扉開音	74.5	*5	12台×1回	102.3	99.0	61.2	98.8	-	-	2.0	-
	54	搬出入車両荷台扉閉音	74.5	*5	5台×1回	74.9	138.1	78.3	30.5	-	-	-	4.2
	55	搬出入車両荷台扉開音	77.3	*5	12台×1回	102.3	99.0	61.2	98.8	0.3	0.6	4.8	0.6
	56	搬出入車両荷台扉閉音	77.3	*5	5台×1回	74.9	138.1	78.3	30.5	-	-	-	7.0
	57	搬出入車両座席扉開閉音	79.0	*5	10台×2回	101.0	91.3	69.0	104.7	4.3	5.2	7.6	4.0
	58	搬出入車両座席扉開閉音	79.0	*5	2台×2回	100.5	87.7	72.8	107.6	-	-	0.2	-
	59	搬出入車両座席扉開閉音	79.0	*5	5台×2回	70.7	139.9	86.3	28.5	4.4	-	2.7	12.3
	60	搬出入車両エンジン始動音	79.1	*5	8台×1回	101.0	91.4	69.0	104.7	0.4	1.3	3.7	0.1
	61	搬出入車両エンジン始動音	79.1	*5	2台×1回	100.6	87.7	72.8	107.6	-	-	-	-
	62	搬出入車両エンジン始動音	79.1	*5	4台×1回	70.7	140.0	86.3	28.6	0.5	-	-	8.4
昼間(午前6時～午後10時)						予測地点A		予測地点B		予測地点C		予測地点D	
等価騒音レベル						42.6dB		41.9dB		43.9dB		43.1dB	
地域の類型						B類型		B類型		A類型		A類型	
環境基準値						55dB		55dB		55dB		55dB	

*5 既存類似店舗調査結果より(単発騒音暴露レベル)

*6 騒音予測地点A～Dは資料-7に示す。

*7 各予測地点における等価騒音レベル(dB)欄に示す記号「-」は、デシベルの計算上マイナスの値を示す。

〔評価〕

予測の結果、「昼間」の等価騒音レベルは全ての地点において基準値を満足するものであり、変更計画に伴い店舗から発生する騒音が周辺地域へ与える影響は少ないものと推察された。

(3) 夜間の等価騒音レベルの予測

騒音発生源	基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)				各予測地点における騒音レベル(dB)					
	騒音レベル(dB)	※根拠		A地点	B地点	C地点	D地点	A地点	B地点	C地点	D地点		
定常騒音	24	冷凍冷蔵庫屋外機1	54.1	*1	終日	111.2	115.1	45.0	92.5	13.2	12.9	21.0	14.8
	25	冷凍冷蔵庫屋外機2	56.7	*1	終日	99.2	133.4	43.7	57.7	16.8	14.2	23.9	21.5
	26	冷凍冷蔵庫屋外機3	62.7	*1	終日	100.7	133.5	42.0	59.4	22.6	20.2	30.2	27.2
	27	冷凍冷蔵庫屋外機4	56.7	*1	終日	98.1	131.7	44.5	58.5	16.9	14.3	23.7	21.4
	28	冷凍冷蔵庫屋外機5	56.7	*1	終日	99.3	131.7	43.3	59.8	16.8	14.3	24.0	21.2
	29	冷凍冷蔵庫屋外機6	64.6	*1	終日	104.4	134.0	38.1	63.3	24.2	22.1	33.0	28.6
	30	冷凍冷蔵庫屋外機7	63.0	*1	終日	104.0	132.4	38.4	64.6	22.7	20.6	31.3	26.8
変動騒音	40	キュービクル	51.7	*2	終日	109.4	135.2	33.0	68.2	10.9	9.1	21.3	15.0
	※	来客車両走行音	74.0	*3	115台×1回	-	-	-	-	32.2	31.9	26.8	26.4
衝撃騒音	※	搬出入車両走行音	83.5	*3	2台×1~2回	-	-	-	-	23.8	16.6	17.7	22.9
	51	荷下ろし音	72.6	*4	1台×22回	102.3	99.0	61.2	98.8	1.2	1.5	5.7	1.5
	52	荷下ろし音	72.6	*4	1台×22回	74.9	138.1	78.3	30.5	3.9	-	3.5	11.7
	53	搬出入車両荷台扉開音	74.5	*4	1台×1回	102.3	99.0	61.2	98.8	-	-	-	-
	54	搬出入車両荷台扉閉音	74.5	*4	1台×1回	74.9	138.1	78.3	30.5	-	-	-	0.2
	55	搬出入車両荷台扉開音	77.3	*4	1台×1回	102.3	99.0	61.2	98.8	-	-	-	-
	56	搬出入車両荷台扉閉音	77.3	*4	1台×1回	74.9	138.1	78.3	30.5	-	-	-	3.0
	57	搬出入車両座席扉開閉音	79.0	*4	1台×2回	101.0	91.3	69.0	104.7	-	-	0.6	-
	59	搬出入車両座席扉開閉音	79.0	*4	1台×2回	70.7	139.9	86.3	28.5	0.4	-	-	8.3
	60	搬出入車両エンジン始動音	79.1	*4	1台×1回	101.0	91.4	69.0	104.7	-	-	-	-
62	搬出入車両エンジン始動音	79.1	*4	1台×1回	70.7	140.0	86.3	28.6	-	-	-	5.4	
夜間(午後10時~午前6時)						予測地点A		予測地点B		予測地点C		予測地点D	
等価騒音レベル						34.3dB		33.2dB		37.7dB		34.6dB	
地域の類型						B類型		B類型		A類型		A類型	
環境基準値						45dB		45dB		45dB		45dB	

変動：変動騒音を示す。

*1 メーカー提供データより

*2 既存類似店舗調査結果より(等価騒音レベル)

*3 「ASJ Model 2003」より

*4 既存類似店舗調査結果より(単発騒音暴露レベル)

*5 騒音予測地点A~Dは資料-7に示す。

*6 各予測地点における等価騒音レベル(dB)欄に示す記号「-」は、デシベルの計算上マイナスの値を示す。

[評価]

予測の結果、「夜間」の等価騒音レベルは全ての地点において基準値を満足するものであり、変更計画に伴い店舗から発生する騒音が周辺地域へ与える影響は少ないものと推察された。

3 夜間において大規模小売店舗の施設の運営に伴い騒音が発生することが見込まれる場合にあつては、その騒音の発生源ごとの騒音レベルの最大値の予測の結果及びその算出根拠〔規則§4 I ⑩〕
 《夜間（午後10時～午前6時）において発生することが見込まれる騒音》

騒音発生源			基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)				敷地境界上における騒音レベル(dB)			
			騒音レベル(dB)	※根拠		a地点	b地点	c地点	d地点	a地点	b地点	c地点	d地点
定 常 騒 音	24	冷凍冷蔵庫屋外機1	54.1	*1	終日	86.4	101.6	8.3	80.6	15.4	14.0	35.7	16.0
	25	冷凍冷蔵庫屋外機2	56.7	*1	終日	75.7	115.4	32.5	49.2	19.1	15.5	26.5	22.9
	26	冷凍冷蔵庫屋外機3	62.7	*1	終日	77.1	115.7	30.9	51.1	25.0	21.4	32.9	28.5
	27	冷凍冷蔵庫屋外機4	56.7	*1	終日	74.5	113.8	31.8	49.4	19.3	15.6	26.7	22.8
	28	冷凍冷蔵庫屋外機5	56.7	*1	終日	75.6	114.0	30.5	50.9	19.1	15.6	27.0	22.6
	29	冷凍冷蔵庫屋外機6	64.6	*1	終日	80.6	116.8	27.1	55.7	26.5	23.3	35.9	29.7
	30	冷凍冷蔵庫屋外機7	63.0	*1	終日	80.0	115.4	25.7	56.5	24.9	21.8	34.8	28.0
	40	キュービクル	51.7	*2	終日	85.4	118.7	22.9	61.3	13.1	10.2	24.5	16.0
変 動 騒 音	※	来客車両走行音1-1	74.0	*3	115台×1回	7.2	67.7	84.6	57.8	56.9	37.4	35.5	38.8
	※	来客車両走行音1-2	74.0	*3	115台×1回	4.4	69.0	87.1	57.8	61.1	37.2	35.2	38.8
	※	来客車両走行音1-3	74.0	*3	115台×1回	1.7	70.4	89.7	57.9	69.4	37.0	34.9	38.7
	※	来客車両走行音2-1	74.0	*3	115台×1回	12.9	65.6	79.4	58.2	51.5	37.7	36.0	38.7
	※	来客車両走行音2-2	74.0	*3	115台×1回	21.9	63.3	71.4	59.7	47.2	38.0	36.9	38.5
	※	来客車両走行音2-3	74.0	*3	115台×1回	30.7	62.1	64.0	62.5	44.3	38.1	37.9	38.1
	※	来客車両走行音3-1	74.0	*3	115台×1回	38.8	62.2	57.4	65.9	42.2	38.1	38.8	37.6
	※	来客車両走行音3-2	74.0	*3	115台×1回	46.0	63.2	51.9	69.6	40.7	38.0	39.7	37.1
	※	来客車両走行音3-3	74.0	*3	115台×1回	53.2	64.9	46.9	73.8	39.5	37.8	40.6	36.6
	※	来客車両走行音4-1	74.0	*3	115台×1回	77.0	75.5	36.1	90.5	36.3	36.4	42.8	34.9
	※	来客車両走行音4-2	74.0	*3	115台×1回	68.9	71.2	38.5	84.5	37.2	37.0	42.3	35.5
	※	来客車両走行音4-3	74.0	*3	115台×1回	60.8	67.6	42.3	78.8	38.3	37.4	41.5	36.1
	※	来客車両走行音5-1	74.0	*3	115台×1回	85.1	79.3	36.9	97.8	35.4	36.0	42.7	34.2
	※	来客車両走行音5-2	74.0	*3	115台×1回	83.5	78.7	36.3	96.2	35.6	36.1	42.8	34.3
	※	来客車両走行音5-3	74.0	*3	115台×1回	81.8	78.1	35.8	94.4	35.7	36.1	42.9	34.5
	※	来客車両走行音6-1	74.0	*3	115台×1回	81.1	75.5	38.5	95.5	35.8	36.4	42.3	34.4
	※	来客車両走行音6-2	74.0	*3	115台×1回	81.4	70.9	44.4	99.3	35.8	37.0	41.1	34.1
	※	来客車両走行音6-3	74.0	*3	115台×1回	82.4	66.5	50.4	103.5	35.7	37.5	40.0	33.7
	※	来客車両走行音7-1	74.0	*3	115台×1回	75.6	59.1	54.4	100.5	36.4	38.6	39.3	34.0
	※	来客車両走行音7-2	74.0	*3	115台×1回	61.0	50.3	59.3	91.2	38.3	40.0	38.5	34.8
	※	来客車両走行音7-3	74.0	*3	115台×1回	46.8	44.9	67.3	83.9	40.6	41.0	37.4	35.5
	※	来客車両走行音8-1	74.0	*3	115台×1回	42.9	38.3	76.5	86.3	41.4	42.3	36.3	35.3
	※	来客車両走行音8-2	74.0	*3	115台×1回	60.4	26.8	85.8	97.4	40.0	45.4	35.3	34.2
	※	来客車両走行音8-3	74.0	*3	115台×1回	59.0	15.4	95.4	108.4	38.6	50.2	34.4	33.3
	※	来客車両走行音9-1	74.0	*3	115台×1回	64.9	8.0	102.0	115.5	37.8	55.9	33.8	32.7
	※	来客車両走行音9-2	74.0	*3	115台×1回	67.3	4.9	104.9	118.4	37.4	60.2	33.6	32.5
	※	来客車両走行音9-3	74.0	*3	115台×1回	69.7	1.9	107.9	121.3	37.1	68.4	33.3	32.3
	※	来客車両走行音10-1	74.0	*3	115台×1回	61.6	9.9	102.5	113.0	38.2	54.1	33.8	32.9
	※	来客車両走行音10-2	74.0	*3	115台×1回	57.8	14.5	107.0	111.6	38.8	50.8	33.4	33.0
	※	来客車両走行音10-3	74.0	*3	115台×1回	55.1	21.4	112.0	110.8	39.2	47.4	33.0	33.1
	※	来客車両走行音11-1	74.0	*3	115台×1回	48.5	27.6	110.0	104.9	40.3	45.2	33.2	33.6
	※	来客車両走行音11-2	74.0	*3	115台×1回	37.6	34.9	101.3	93.4	42.5	43.1	33.9	34.6
	※	来客車両走行音11-3	74.0	*3	115台×1回	27.1	44.1	93.1	81.8	45.3	41.1	34.6	35.7
※	来客車両走行音12-1	74.0	*3	115台×1回	19.4	52.1	88.1	73.0	48.2	39.7	35.1	36.7	
※	来客車両走行音12-2	74.0	*3	115台×1回	14.1	58.0	85.8	67.0	51.0	38.7	35.3	37.5	
※	来客車両走行音12-3	74.0	*3	115台×1回	9.8	64.1	84.0	60.9	54.2	37.9	35.5	38.3	
※	搬出入車両走行音1-1	83.5	*3	1台×2回	85.1	79.3	36.9	97.8	44.9	45.5	52.2	43.7	
※	搬出入車両走行音1-2	83.5	*3	1台×2回	83.5	78.7	36.3	96.2	45.1	45.6	52.3	43.8	
※	搬出入車両走行音1-3	83.5	*3	1台×2回	81.8	78.1	35.8	94.4	45.2	45.6	52.4	44.0	
※	搬出入車両走行音2-1	83.5	*3	1台×1回	77.0	75.5	36.1	90.5	45.8	45.9	52.3	44.4	
※	搬出入車両走行音2-2	83.5	*3	1台×1回	68.9	71.2	38.5	84.5	46.7	46.5	51.8	45.0	
※	搬出入車両走行音2-3	83.5	*3	1台×1回	60.8	67.6	42.3	78.8	47.8	46.9	51.0	45.6	

*1 メーカー提供データより
 *2 既存類似店舗調査結果より（等価騒音レベル）
 *3 「ASJ Model 2003」より

騒音発生源			基準距離における騒音レベル等		騒音継続時間 又は 騒音発生回数	予測地点までの距離(m)				敷地境界上における騒音レベル(dB)			
			騒音レベル(dB)	※根拠		a地点	b地点	c地点	d地点	a地点	b地点	c地点	d地点
変 動 騒 音	※	搬出入車両走行音3-1	83.5	*3	1台×1回	80.4	78.1	34.9	92.7	45.2	45.6	52.6	44.2
	※	搬出入車両走行音3-2	83.5	*3	1台×1回	79.1	78.3	33.9	91.0	45.3	45.6	52.9	44.3
	※	搬出入車両走行音3-3	83.5	*3	1台×1回	77.9	78.7	32.7	89.1	45.7	45.6	53.2	44.5
	※	搬出入車両走行音7-1	83.5	*3	1台×2回	7.2	67.7	84.6	57.8	46.2	46.9	45.0	48.3
	※	搬出入車両走行音7-2	83.5	*3	1台×2回	4.4	69.0	87.1	57.8	40.6	46.7	44.7	48.3
	※	搬出入車両走行音7-3	83.5	*3	1台×2回	1.7	70.4	89.7	57.9	48.9	46.3	44.4	45.2
	※	搬出入車両走行音8-1	83.5	*3	1台×2回	8.8	71.2	82.2	53.7	44.3	46.5	45.2	48.9
	※	搬出入車両走行音8-2	83.5	*3	1台×2回	14.0	79.8	80.7	45.1	40.6	45.5	45.4	50.2
	※	搬出入車両走行音8-3	83.5	*3	1台×2回	21.5	88.1	80.0	36.8	46.2	44.6	45.4	52.2
	※	搬出入車両走行音9-1	83.5	*3	1台×2回	30.0	97.0	80.3	28.0	41.0	43.8	43.4	54.6
	※	搬出入車両走行音9-2	83.5	*3	1台×2回	39.1	106.2	81.6	19.2	41.7	43.0	45.3	57.3
	※	搬出入車両走行音9-3	83.5	*3	1台×2回	48.3	115.6	84.0	11.2	49.3	42.2	45.0	62.5
	※	搬出入車両走行音10-1	83.5	*3	1台×1回	52.9	120.5	86.6	9.4	49.0	41.9	44.7	64.0
	※	搬出入車両走行音10-2	83.5	*3	1台×1回	53.0	121.1	88.7	11.4	49.0	41.8	44.5	62.2
	衝 撃 騒 音	51	荷下ろし音	75.8	*4	1台×22回	78.1	85.7	24.4	83.5	37.9	37.1	43.1
52		荷下ろし音	75.8	*4	1台×22回	56.1	116.5	68.1	11.8	40.8	34.5	39.1	54.2
53		搬出入車両荷台扉開音	77.8	*4	1台×1回	78.1	85.7	24.4	83.5	39.9	39.1	50.1	39.4
54		搬出入車両荷台扉開音	77.8	*4	1台×1回	56.1	116.5	68.1	11.8	42.8	36.5	41.1	56.2
55		搬出入車両荷台扉閉音	79.4	*4	1台×1回	78.1	85.7	24.4	83.5	41.5	40.7	51.7	41.0
56		搬出入車両荷台扉閉音	79.4	*4	1台×1回	56.1	116.5	68.1	11.8	44.4	38.1	42.7	58.0
57		搬出入車両座席扉開閉音	81.3	*4	1台×2回	77.3	78.9	32.2	88.2	43.5	43.4	51.1	42.4
59	搬出入車両座席扉開閉音	81.3	*4	1台×2回	54.0	117.9	76.0	5.2	46.7	39.9	43.7	67.0	
60	搬出入車両エンジン始動音	81.1	*4	1台×1回	77.3	78.9	32.2	88.2	43.3	43.2	50.9	42.2	
62	搬出入車両エンジン始動音	81.1	*4	1台×1回	54.0	117.9	76.0	5.3	46.5	39.7	43.5	66.6	
夜間(午後10時～午前6時)						a地点		b地点		c地点		d地点	
最大値のレベル						78.9 dB		68.4 dB		53.2 dB		70.1 dB	
区域の種別						第2種区域		第2種区域		第2種区域		第2種区域	
規制基準値						45 dB		45 dB		45 dB		45 dB	

*3 「ASJ Model 2003」より

*4 既存類似店舗調査結果より(騒音レベル最大値)

*5 騒音予測地点a～dは、資料-7に示す。

〔評価〕

予測の結果、全ての地点において自動車走行音及び荷さばき作業に伴い発生する騒音の影響により基準値を上回ることが予測された。

※特別な事情による発生する騒音ごとの予測
該当なし

発生する騒音ごとの予測方法
該当なし

[規制値を越す場合の対策（または対策不要の理由）]

店舗敷地境界上で基準値を超過する騒音発生源について、近接して立地する保全対象側（A～D地点）にて再予測を行った結果、全ての地点において基準値を上回ることが予測された。

自動車走行音の影響を抑制すべく、駐車場内に徐行運転（10km/h以下）やアイドリング禁止を励行する旨の看板を設置して来店者に騒音防止の意識を周知いたします。

一方、夜間に占める荷さばき作業時間帯（40分）に対して、a地点では約1分間（発生時間率2.8%）、b地点では約33秒間（発生時間率1.4%）、c地点では約1分間（発生時間率3.2%）、d地点では約1分間（発生時間率3.4%）が基準値を超過することになるが、騒音規制法における騒音評価量90%レンジ上端値で見ると規制基準は満足するため、周辺住居等に与える騒音の影響は比較的小さいものと推察される。

変更後、苦情等が発生した際には、発生源対策を含め誠意を持って対応いたします。

A地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源				基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
	番号	機器名称	高さ						
衝撃	59	搬出入車両座席扉閉音	1.5	81.3	70.7	37.0	-	44.3	45
	62	搬出入車両エンジン始動音	0.6	81.1	70.7	37.0	-	44.1	
	※	来客車両走行音（線分番号1-1）	0.6	74.0	31.6	30.0	-	44.0	
※	来客車両走行音（線分番号1-2）	0.6	74.0	29.0	29.2	-	44.8		
※	来客車両走行音（線分番号1-3）	0.6	74.0	26.3	28.4	-	45.6		
※	来客車両走行音（線分番号2-1）	0.6	74.0	37.1	31.4	-	42.6		
※	来客車両走行音（線分番号2-2）	0.6	74.0	45.9	33.2	-	40.8		
※	来客車両走行音（線分番号11-3）	0.6	74.0	38.2	31.6	-	42.4		
※	来客車両走行音（線分番号12-1）	0.6	74.0	35.3	31.0	-	43.0		
※	来客車両走行音（線分番号12-2）	0.6	74.0	33.6	30.5	-	43.5		
※	来客車両走行音（線分番号12-3）	0.6	74.0	32.9	30.3	-	43.7		
※	搬出入車両走行音（線分番号1-2）	0.6	83.5	106.8	40.6	-	42.9		
※	搬出入車両走行音（線分番号1-3）	0.6	83.5	105.1	40.4	-	43.1		
※	搬出入車両走行音（線分番号2-1）	0.6	83.5	100.4	40.0	-	43.5		
※	搬出入車両走行音（線分番号2-2）	0.6	83.5	92.3	39.3	-	44.2		
※	搬出入車両走行音（線分番号2-3）	0.6	83.5	84.3	38.5	-	45.0		
※	搬出入車両走行音（線分番号3-1）	0.6	83.5	103.8	40.3	-	43.2		
※	搬出入車両走行音（線分番号3-2）	0.6	83.5	102.6	40.2	-	43.3		
※	搬出入車両走行音（線分番号3-3）	0.6	83.5	101.5	40.1	-	43.4		
※	搬出入車両走行音（線分番号7-1）	0.6	83.5	31.6	30.0	-	53.5		
※	搬出入車両走行音（線分番号7-2）	0.6	83.5	29.0	29.2	-	54.3		
※	搬出入車両走行音（線分番号7-3）	0.6	83.5	26.3	28.4	-	55.1		
※	搬出入車両走行音（線分番号8-1）	0.6	83.5	33.7	30.6	-	52.9		
※	搬出入車両走行音（線分番号8-2）	0.6	83.5	36.8	31.3	-	52.2		
※	搬出入車両走行音（線分番号8-3）	0.6	83.5	41.5	32.4	-	51.1		
※	搬出入車両走行音（線分番号9-1）	0.6	83.5	47.6	33.6	-	49.9		
※	搬出入車両走行音（線分番号9-2）	0.6	83.5	54.8	34.8	-	48.7		
※	搬出入車両走行音（線分番号9-3）	0.6	83.5	62.6	35.9	-	47.6		
※	搬出入車両走行音（線分番号10-1）	0.6	83.5	66.3	36.4	-	47.1		
※	搬出入車両走行音（線分番号10-2）	0.6	83.5	65.5	36.3	-	47.2		
※	搬出入車両走行音（線分番号10-3）	0.6	83.5	64.9	36.2	-	47.3		
※	搬出入車両走行音（線分番号11-1）	0.6	83.5	67.2	36.5	-	47.0		
※	搬出入車両走行音（線分番号11-2）	0.6	83.5	68.6	36.7	-	46.8		
※	搬出入車両走行音（線分番号11-3）	0.6	83.5	70.0	36.9	-	46.6		

衝撃：衝撃騒音を示す。

荷さばき作業音が基準値を上回る時間の算出は、発生台数、発生回数及び発生時間より、又、自動車走行音が基準値を上回る時間の算出は、線分のΔtと発生回数より求める。

荷さばき作業音（音源番号59、62）

$$\begin{aligned} \text{超過時間} &= \text{発生台数} \times \text{騒音発生回数} \times \text{発生時間} \\ &= (1 \times 2 \times 1) + (1 \times 1 \times 1) = 3 \text{秒} \end{aligned}$$

搬出入車両走行音（線分番号1-2、1-3、2-1、2-2、2-3、3-1、3-2、3-3、7-1、7-2、7-3、8-1、8-2、8-3、9-1、9-2、9-3、10-1、10-2、10-3、11-1、11-2、11-3）

$$\begin{aligned} \text{超過時間} &= \Delta t \times \text{騒音発生回数} \\ &= (0.62 \times 2) \times 2 + (2.90 \times 3 + 0.65 \times 3) \times 1 + (1.02 \times 3 + 3.10 \times 3 + 3.37 \times 3) \times 2 \\ &\quad + (0.80 \times 3 + 1.18 \times 3) \times 1 \\ &= 64.01 \text{秒} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{超過時間} &= \text{荷さばき作業音} + \text{搬出入車両走行音} \\ &= 3 \text{秒} + 64.01 \text{秒} \\ &= 67.01 \text{秒} \quad (\text{発生時間率} 2.8\%) \end{aligned}$$

A地点における騒音レベル最大値の予測結果（対策後）

騒音発生源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機器名称	高さ						
※	来客車両走行音（線分番号1-3）	0.6	69.0	26.3	28.4	-	40.6	45

B地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機器名称	高さ						
※	来客車両走行音（線分番号8-2）	0.6	74.0	47.8	33.6	-	40.4	45
※	来客車両走行音（線分番号8-3）	0.6	74.0	36.8	31.3	-	42.7	
※	来客車両走行音（線分番号9-1）	0.6	74.0	29.9	29.5	-	44.5	
※	来客車両走行音（線分番号9-2）	0.6	74.0	27.3	28.7	-	45.3	
※	来客車両走行音（線分番号9-3）	0.6	74.0	24.8	27.9	-	46.1	
※	来客車両走行音（線分番号10-1）	0.6	74.0	32.9	30.3	-	43.7	
※	来客車両走行音（線分番号10-2）	0.6	74.0	37.3	31.4	-	42.6	
※	来客車両走行音（線分番号10-3）	0.6	74.0	42.8	32.6	-	41.4	
※	来客車両走行音（線分番号11-1）	0.6	74.0	49.6	33.9	-	40.1	
※	搬出入車両走行音（線分番号1-1）	0.6	83.5	89.5	39.0	-	44.5	
※	搬出入車両走行音（線分番号1-2）	0.6	83.5	89.3	39.0	-	44.5	
※	搬出入車両走行音（線分番号1-3）	0.6	83.5	89.2	39.0	-	44.5	
※	搬出入車両走行音（線分番号2-1）	0.6	83.5	87.6	38.9	-	44.6	
※	搬出入車両走行音（線分番号2-2）	0.6	83.5	85.1	38.6	-	44.9	
※	搬出入車両走行音（線分番号2-3）	0.6	83.5	83.3	38.4	-	45.1	
※	搬出入車両走行音（線分番号3-1）	0.6	83.5	89.5	39.0	-	44.5	
※	搬出入車両走行音（線分番号3-2）	0.6	83.5	90.2	39.1	-	44.4	
※	搬出入車両走行音（線分番号3-3）	0.6	83.5	91.0	39.2	-	44.3	
※	搬出入車両走行音（線分番号7-1）	0.6	83.5	90.8	39.2	-	44.3	
※	搬出入車両走行音（線分番号7-2）	0.6	83.5	92.1	39.3	-	44.2	
※	搬出入車両走行音（線分番号7-3）	0.6	83.5	93.5	39.4	-	44.1	
※	搬出入車両走行音（線分番号8-1）	0.6	83.5	94.2	39.5	-	44.0	
※	搬出入車両走行音（線分番号8-2）	0.6	83.5	102.6	40.2	-	43.3	

自動車走行音が基準値を上回る時間の算出は、線分の Δt と発生回数より求める。

搬出入車両走行音（線分番号1-1、1-2、1-3、2-1、2-2、2-3、3-1、3-2、3-3、4-1、4-2、4-3、

5-1、5-2、5-3、6-1、6-2、6-3、7-1、7-2、7-3、8-1、8-2）

超過時間 = $\Delta t \times$ 騒音発生回数

$$= (0.62 \times 3) \times 2 + (2.90 \times 3 + 0.65 \times 3) \times 1 + (1.02 \times 3 + 3.10 \times 2) \times 2$$

$$= 32.89 \text{秒 (発生時間率1.4\%)}$$

B地点における騒音レベル最大値の予測結果（対策後）

騒音発生源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機器名称	高さ						
※	来客車両走行音（線分番号9-2）	0.6	69.0	27.3	28.7	-	40.3	45
※	来客車両走行音（線分番号9-3）	0.6	69.0	24.8	27.9	-	41.1	

C地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機器名称	高さ						
衝撃騒音	51	荷下ろし音	75.8	61.2	35.7	-	40.1	45
	53	搬出入車両荷台扉開音	77.8	61.2	35.7	-	42.1	
	55	搬出入車両荷台扉閉音	79.4	61.2	35.7	-	43.7	
	57	搬出入車両座席扉開閉音	81.3	69.0	36.8	-	44.5	
	60	搬出入車両エンジン始動音	81.1	69.0	36.8	-	44.3	
	※	搬出入車両走行音（線分番号1-1）	0.6	83.5	72.8	37.2	-	
※	搬出入車両走行音（線分番号1-2）	0.6	83.5	72.4	37.2	-	46.3	
※	搬出入車両走行音（線分番号1-3）	0.6	83.5	72.1	37.2	-	46.3	
※	搬出入車両走行音（線分番号2-1）	0.6	83.5	72.8	37.2	-	46.5	
※	搬出入車両走行音（線分番号2-2）	0.6	83.5	75.2	37.5	-	46.0	
※	搬出入車両走行音（線分番号2-3）	0.6	83.5	78.4	37.9	-	45.6	
※	搬出入車両走行音（線分番号3-1）	0.6	83.5	71.4	37.1	-	46.4	
※	搬出入車両走行音（線分番号3-2）	0.6	83.5	70.5	37.0	-	46.5	
※	搬出入車両走行音（線分番号3-3）	0.6	83.5	69.4	36.8	-	46.7	
※	搬出入車両走行音（線分番号8-1）	0.6	83.5	109.3	40.8	-	42.7	
※	搬出入車両走行音（線分番号8-2）	0.6	83.5	105.5	40.5	-	43.0	
※	搬出入車両走行音（線分番号8-3）	0.6	83.5	102.2	40.2	-	43.3	
※	搬出入車両走行音（線分番号9-1）	0.6	83.5	99.5	40.0	-	43.5	
※	搬出入車両走行音（線分番号9-2）	0.6	83.5	97.4	39.8	-	43.7	
※	搬出入車両走行音（線分番号11-2）	0.6	83.5	91.1	39.2	-	44.3	
※	搬出入車両走行音（線分番号11-3）	0.6	83.5	87.9	38.9	-	44.6	

荷さばき作業音が基準値を上回る時間の算出は、発生台数、発生回数及び発生時間より、又、自動車走行音が基準値を上回る時間の算出は、線分の Δt と発生回数より求める。

荷さばき作業音（音源番号51、53、55、57、60）

超過時間 = 発生台数 \times 騒音発生回数 \times 発生時間

$$= (1 \times 22 \times 1) + (1 \times 1 \times 1) + (1 \times 1 \times 1) + (1 \times 2 \times 1) + (1 \times 1 \times 1)$$

$$= 27 \text{秒}$$

搬出入車両走行音（線分番号1-1、1-2、1-3、2-1、2-2、2-3、3-1、3-2、3-3、8-1、8-2、8-3、

9-1、9-2、11-2、11-3）

超過時間 = $\Delta t \times$ 騒音発生回数

$$= (0.62 \times 3) \times 2 + (2.90 \times 3 + 0.65 \times 3) \times 1 + (3.10 \times 3 + 3.37 \times 2) \times 2 + (1.18 \times 2) \times 1$$

$$= 48.81 \text{秒}$$

超過時間＝荷さばき作業音＋搬出入車両走行音
 ＝27秒＋43.81秒
 ＝75.81秒（発生時間率3.2%）

D地点における騒音レベル最大値の予測結果

騒音発生源			基準距離 における 騒音レベル (dB)	予測地点 までの 距離(m)	距離減衰量 (dB)	回折減衰量 (dB)	予測地点 における 騒音レベル (dB)	基準値
番号	機器名称	高さ						
衝撃騒音	52	荷下ろし音	0.6	75.8	30.5	29.7	46.1	45
	54	搬出入車両荷台扉開音	1.5	77.8	30.5	29.7	48.1	
	56	搬出入車両荷台扉閉音	1.5	79.4	30.5	29.7	49.7	
	59	搬出入車両座席扉開閉音	1.5	81.3	28.5	29.1	52.3	
	62	搬出入車両エンジン始動音	0.6	81.1	28.6	29.1	52.0	
	※	搬出入車両走行音（線分番号2-3）	0.6	83.5	97.8	39.8	43.7	
	※	搬出入車両走行音（線分番号7-1）	0.6	83.5	81.7	38.2	45.3	
	※	搬出入車両走行音（線分番号7-2）	0.6	83.5	81.7	38.2	45.3	
	※	搬出入車両走行音（線分番号7-3）	0.6	83.5	81.7	38.2	45.3	
	※	搬出入車両走行音（線分番号8-1）	0.6	83.5	77.6	37.8	45.7	
	※	搬出入車両走行音（線分番号8-2）	0.6	83.5	69.0	36.8	46.7	
	※	搬出入車両走行音（線分番号8-3）	0.6	83.5	60.6	35.6	47.9	
	※	搬出入車両走行音（線分番号9-1）	0.6	83.5	51.8	34.3	49.2	
	※	搬出入車両走行音（線分番号9-2）	0.6	83.5	42.7	32.6	50.9	
	※	搬出入車両走行音（線分番号9-3）	0.6	83.5	33.7	30.6	52.9	
	※	搬出入車両走行音（線分番号10-1）	0.6	83.5	29.6	29.4	53.1	
	※	搬出入車両走行音（線分番号10-2）	0.6	83.5	30.3	29.6	53.9	
※	搬出入車両走行音（線分番号10-3）	0.6	83.5	31.2	29.9	53.6		
※	搬出入車両走行音（線分番号11-1）	0.6	83.5	29.0	29.2	54.3		
※	搬出入車両走行音（線分番号11-2）	0.6	83.5	28.5	29.1	54.4		
※	搬出入車両走行音（線分番号11-3）	0.6	83.5	28.4	29.1	54.4		

荷さばき作業音が基準値を上回る時間の算出は、発生台数、発生回数及び発生時間より、又、自動車走行音が基準値を上回る時間の算出は、線分のΔtと発生回数より求める。

荷さばき作業音（音源番号52、54、56、59、62）

超過時間＝発生台数×騒音発生回数×発生時間
 ＝(1×22×1)＋(1×1×1)＋(1×1×1)＋(1×2×1)＋(1×1×1)
 ＝27秒

搬出入車両走行音（線分番号2-3、7-1、7-2、7-3、8-1、8-2、8-3、9-1、9-2、9-3、

10-1、10-2、10-3、11-1、11-2、11-3）

超過時間＝Δt×騒音発生回数
 ＝(2.90×1)×1＋(1.02×3＋3.10×3＋3.37×3)×2＋(0.80×3＋1.18×3)×1
 ＝53.78秒

超過時間＝荷さばき作業音＋搬出入車両走行音

＝27秒＋53.78秒
 ＝80.78秒（発生時間率3.4%）

4 騒音の予測と騒音対策

(1) 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策の概要

項目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の配置等	別添「資料-3. 2 平面図兼配置図 (変更後)」に記載
荷さばき施設の騒音対策	・十分な作業スペースを確保するとともに、荷さばき搬出入計画に基づいて行うことで作業時間の短縮に努める。
荷さばき作業の騒音対策	・荷さばき車両のアイドリングを禁止するなど、業者及び作業員には騒音防止の意識を徹底させる。(但し、エンジンを停止することができない保冷車のアイドリングは除く)

(2) 冷却塔、冷暖房設備の室外機又は送風機等の規模・能力・騒音レベル等

No.	項目		設置の有無	規模・能力	騒音レベル (dB)	騒音対策等
	種類	形式				
1	室外機1	PUZ-ZRMP50KA15	有	圧縮機出力0.8kW	46.1	・定期的に保守点検を実施し、故障等による異音の発生を防止する。
2	室外機2	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
3	室外機3	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
4	室外機4	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
5	室外機5	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
6	室外機6	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
7	室外機7	PUZ-ZRMP40KA15	有	圧縮機出力0.6kW	46.1	
8	室外機8	PUZ-ZRMP160KA15	有	圧縮機出力3.3kW	53.1	
9	室外機9	PUZ-ZRMP160KA15	有	圧縮機出力3.3kW	53.1	
10	室外機10	PUZ-ZRMP140KA15	有	圧縮機出力2.8kW	52.1	
11	室外機11	PUZ-ZRMP112KA15	有	圧縮機出力2.1kW	50.1	
12	室外機12	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
13	室外機13	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
14	室外機14	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
15	室外機15	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
16	室外機16	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
17	室外機17	PUZ-ZRMP160KA15	有	圧縮機出力3.3kW	53.1	
18	室外機18	PUZ-ZRMP50KA15	有	圧縮機出力0.8kW	46.1	
19	室外機19	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
20	室外機20	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
21	室外機21	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
22	室外機22	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
23	室外機23	PUZ-ZRMP280KA5	有	圧縮機出力5.7kW	62.0	
24	冷凍冷蔵庫屋外機1	OCU-CR200VF	有	圧縮機出力1.6kW	54.1	
25	冷凍冷蔵庫屋外機2	OCU-CR1001VF	有	圧縮機出力7.3kW	56.7	
26	冷凍冷蔵庫屋外機3	OCU-CR3000MVF	有	圧縮機出力18.3kW	62.7	
27	冷凍冷蔵庫屋外機4	OCU-CR1001VF	有	圧縮機出力7.3kW	56.7	
28	冷凍冷蔵庫屋外機5	OCU-CR1001VF	有	圧縮機出力7.3kW	56.7	
29	冷凍冷蔵庫屋外機6	OCU-CR4000MVF	有	圧縮機出力29.2kW	64.6	
30	冷凍冷蔵庫屋外機7	OCU-CR2001MVF	有	圧縮機出力14.6kW	63.0	
31	排気口1	排気口 a	有	—	53.3	
32	排気口2	排気口 a	有	—	53.3	
33	排気口3	排気口 a	有	—	53.3	
34	排気口4	排気口 b	有	—	56.3	
35	排気口5	排気口 b	有	—	56.3	
36	排気口6	排気口 b	有	—	56.3	
37	排気口7	排気口 b	有	—	56.3	

No.	項目		設置の有無	規模・能力	騒音レベル (dB)	騒音対策等
	種類	形式				
38	排気口8	排気口c	有	—	51.4	・同上
39	排気口9	排気口c	有	—	51.4	
40	キュービクル	キュービクルa	有	—	51.7	無

(3) 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

駐車場No.	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
駐車場	・特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・繁忙時など混雑が見込まれる際には、交通整理員を配置して場内走行の円滑化を図り、渋滞による騒音の発生を抑制する。 ・駐車場内に徐行運転 (10km/h以下) やアイドリング禁止を励行する旨の看板を設置して来店者に注意を喚起する。

5 その他 (特記事項)

特になし

〔廃棄物に係る事項等〕

1 必要な廃棄物等の保管施設の容量を算出するための廃棄物等の排出量等の予測の結果及びその算出根拠

〔規則§4I②〕

(1) 廃棄物等の排出量等の予測

(端数処理：四捨五入)

廃棄物種別	店舗面積：S		指針 原単位	A 一日当たり 廃棄物排出量 (原単位×S)	B 平均 保管 日数	C 見かけ 比重 (t/m ³)	排出予測量 A×B÷C
紙製廃棄物等	6,000m ² 以下の部分	2,205千m ²	0.208	0.458640 t	1日	0.10	4.59m ³
金属製廃棄物等	6,000m ² 以下の部分	2,205千m ²	0.007	0.015435 t	1日	0.10	0.15m ³
ガラス製廃棄物等	6,000m ² 以下の部分	2,205千m ²	0.006	0.013230 t	1日	0.10	0.13m ³
プラスチック製 廃棄物等	6,000m ² 以下の部分	2,205千m ²	0.020	0.044100 t	1日	0.01	4.41m ³
生ゴミ等	6,000m ² 以下の部分	2,205千m ²	0.169	0.372645 t	1日	0.55	0.68m ³
その他の可燃性 廃棄物等		2,205千m ²	0.054	0.119070 t	1日	0.38	0.31m ³
						合 計	10.27m ³

〔見かけ比重について指針の数値によらない場合〕

該当なし

(2) 特別な事情による廃棄物等の排出量予測【特別な事情がある場合のみ記載】

該当なし

(3) 小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出状況【小売店舗以外の施設が有る場合のみ記載】

該当なし

(4) リサイクル品（再利用対象物）の排出量等の予測【小売業者が廃棄物等の回収を行う場合のみ記載】

該当なし

(5) その他の廃棄物等（廃家電・粗大ゴミ等）の排出量等の予測

【(1)以外の廃棄物等の排出が見込まれる場合に記載】

該当なし

2 保管場所の位置・構造等

廃棄物種別	分別する種類	施設面積	施設容量	管理上の対策			図面No.
				悪臭発散防止対策	汚水流出防止対策	その他	
紙製廃棄物等	ダンボール	12.02㎡	18.03㎡	・密閉性確保された構造としている。	・特になし	・特になし	資料-3.2 参照
金属製廃棄物等	スチール缶 アルミ缶						
ガラス製廃棄物	ビン類						
プラスチック製廃棄物	ペットボトル						
生ゴミ等	生ゴミ等	6.62㎡	9.93㎡				
その他の可燃性廃棄物	紙くず等						
その他	—	—	—				
計		18.64㎡	27.96㎡				

3 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

廃棄物減量化及びリサイクル計画の予定及び概要	【廃棄物減量化】 過剰包装・梱包の抑制による廃棄物の低減化を図る。 【リサイクル計画】 商品梱包用段ボールや空き缶を分別保管し、業者に依頼して再資源化を図る。
------------------------	--

周辺住民への周知方法	・住民説明会で周知を図る。
------------	---------------

4 廃棄物等の運搬・処理計画

(1) 廃棄物等の運搬方法

項目	紙製廃棄物等	金属製廃棄物等	ガラス製廃棄物等
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
収集車の種類	4 tパッカー車	4 tパッカー車	4 tパッカー車
予定業者等	霧島市許可業者	鹿児島県許可業者	鹿児島県許可業者
運搬の頻度	1回/日	1回/日	1回/日

項目	プラスチック製廃棄物	生ゴミ等	その他可燃性廃棄物
運搬の方法	業者委託	業者委託	業者委託
収集車の種類	4 tパッカー車	4 tパッカー車	4 tパッカー車
予定業者等	鹿児島県許可業者	霧島市許可業者	霧島市許可業者
運搬の頻度	1回/日	1回/日	1回/日

(2) 廃棄物等の処理方法

項目	紙製廃棄物等	金属製廃棄物等	ガラス製廃棄物等
処理の方法	リサイクル	リサイクル	リサイクル
処理予定業者等	未定	未定	未定
敷地内処理の場合	該当なし	該当なし	該当なし

項目	プラスチック製廃棄物	生ごみ等	その他可燃性廃棄物
処理の方法	リサイクル	敷地外処理	敷地外処理
処理予定業者等	未定	敷根清掃センター	
敷地内処理の場合	該当なし	該当なし	該当なし

(3) 小売業者における廃棄物等運搬・処理の方法
該当なし

(4) 食品加工場等計画

面積	217m ²
配置	別添「資料-3.2 平面図兼配置図(変更後)」参照
加工の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鮮魚：解体、パック詰め ・精肉：スライス、パック詰め ・青果：スライス、パック詰め ・惣菜：調理加工、パック詰め ・寿司：調理加工、パック詰め
悪臭対策	<ul style="list-style-type: none"> ・悪臭の元となる生ごみは、密閉性が確保できる保管施設に収納するとともに、冷蔵設備を設置することで、悪臭が漏出しないように配慮する。 ・定期的に保管庫を水洗洗浄することにより、悪臭発生防止を図る。
汚水対策	<ul style="list-style-type: none"> ・施設から出る排水はグリストラップにより処理され、敷地外へ排出される。

5 その他(特記事項)

特になし

[街並みづくり等への配慮等]

1 街並みづくり等への配慮に関する事項

- (1) 景観法に基づく景観計画若しくは景観地区、地区計画若しくは風致地区が定められている地区又は建築協定若しくは景観協定が締結されている地区

該当の有無	—
有 ・ (無)	

- (2) 景観への配慮

・周辺地域の景観に配慮して、建物の色彩やデザインの調和を図る。

- (3) 商店街のアーケードの整備等の街並みづくり等への配慮事項

・特になし

- (4) まちづくりへの対応方針

①従業員を採用する際は、地域から優先的に雇用する。
②定期的到店舗周辺の清掃活動に取り組む。
③地域の祭りや各種行事について地域自治会から申し出があれば、協力を検討する。
④万一閉鎖を余儀なくされた場合においては、「早期の情報提供」、「従業員雇用の確保」、「取引先企業に対する対応」、「店舗閉鎖に伴う環境悪化の防止」など適切に対応する。

- (5) 敷地内の緑化計画

計画なし

- (6) 屋外照明・広告塔照明等の計画と光害対策

	屋外照明	広告塔照明
照明灯の配置	未定	未定
照明灯の方向	駐車場内に照射	広告塔方向下向きに照射
照明の強さ	—	—
点灯時間	日没～閉店後30分まで	
光害対策	・周辺近隣に対して光害を発生させないよう照明の配置、方向、光源の種類は十分に配慮する。	

- (7) 防災への協力

防災協定等	締結協定の内容
締結依頼	・地方公共団体から格段の要請はないが、災害時の避難場所として駐車場等敷地の一部の使用、若しくは、店舗で扱っている物資の緊急時における提供について、要請があれば協議検討のうえ協力する。
締結済	

(8) 防犯対策への協力

駐車場内の照明の設置	・駐車場内には適切に照明設備を配置することで死角を排除し、青少年のたまり場とならないよう配慮する。
警備員の巡回等	・従業員による定期的な店内巡回や声かけを行うことで、防犯に努める。
閉店後及び休業日における店舗施設内の措置等	・閉店後には、駐車場がたまり場となることを防止するため、駐車場出入口をバリカー等で閉鎖する。
周辺地域での防犯や青少年の非行防止のための対策	・従業員による店内及び駐車場内の巡回や声かけ等により、事前に犯罪を抑制するとともに、少年非行防止の観点から見通しを確保した商品陳列、店舗内外への防犯カメラの設置など万引き防止等の防犯対策を講じる。
その他防犯対策	・防犯責任者を設置するとともに、警察署との連携が図れるよう緊急時の防犯体制を整備する。

2 その他（特記事項）

特になし

○

○